



「遺伝性がん当事者からの手紙」 写真パネル展

☆どなたでもお気軽にお立ち寄りください。

2025年

1月6日(月)～1月30日(木)

※平日(土日祝日を除く)

時間：8:30-17:15

場所：大分大学医学部附属病院 玄関ホール

2025年

2月1日(土)～2月9日(日)

2月11日(火)

※2月10日は休館日

時間：9:00-22:00 ※2月11日は18:00まで

場所：J:COM ホルトホール大分 エントランスホール

第5回 大分大学医学部附属病院 市民公開講座

「いのちと向き合う“遺伝と病気のはなし”」

日時：2025年 2月8日(土) 15:00～17:00

場所：J:COM ホルトホール大分 サテライトキャンパスおおいた 定員：先着30名 ※要・事前申込

お問い合わせ先



大分大学医学部附属病院 遺伝子診療室

電話：**097-549-4411** (代表) 平日8:30-17:15

※ 詳細は、大分大学医学部附属病院 遺伝子診療室ホームページをご覧ください。



アンケートにご協力をお願いします。

左記QRコードまたは下記URLよりパネル展をご覧になった感想、当事者の方へのメッセージなどお寄せください。

<https://forms.gle/4u33KxiUbSgQdJL78>

主催：大分大学医学部附属病院 遺伝子診療室、特定非営利活動法人クラヴィスアルクス 後援：大分県医師会



特定非営利活動法人
クラヴィスアルクス
理事長

太宰牧子

みなさまはじめまして。

「遺伝性がん当事者からの手紙」写真パネル展は、2018年に四国からスタートし、現在では全国各地で開催させていただいておりますが、この度、大分県での初開催となります。

遺伝性乳がん卵巣がんと診断される方は、がんにかかりやすい遺伝子の特徴を持っています。生まれつきの体質ですが、必ずがんを発症するわけではなく、次世代に遺伝する確率は50%です。現在では、遺伝性乳がん卵巣がんのような遺伝性のがんであると知ることによって、治療の選択肢が広がったり、家族や血縁者の健康管理に役立てられたりと、より身近に感じられるようになりました。

当事者の皆さんの思いも様々で、遺伝性がんと知ることによって良かったことや辛かったことなど、それぞれにたくさんの気持ちや覚悟があります。たくさんの経験や思いを1枚のパネルにのせて「遺伝性がん当事者からの手紙」写真パネル展は、2018年に四国からスタートし、現在では全国各地を旅しております。この度、大分県では初開催となります。

今回この企画を主催してくださった大分大学医学部附属病院の遺伝子診療室からもメッセージをいただきました♪

遺伝に関することを相談できる場所

遺伝性のがんと診断された患者さんやご家族から、“同じような遺伝性がんの方はいらっしゃいますか？”“他の方はどのように治療や予防を選択していますか？”“子どもに遺伝の可能性をどのように伝えていきますか？”といった質問をいただくことがあります。このような声を通じて、患者さん同士のつながりや遺伝や遺伝性がんの知識・情報の共有が求められていることを強く感じています。遺伝カウンセリングでは遺伝に関する様々な相談、遺伝性乳がん卵巣がん(HBOC)などのリスク評価や予防、治療方法についてご提案しています。



認定遺伝カウンセラー

塚谷延枝



臨床遺伝専門医
遺伝子診療室 室長

井原健二

正しい知識の発信と遺伝性がんの理解を深めるための活動が大切

医学や遺伝子解析技術の発展により、遺伝情報を活用した医療が身近になる一方で、遺伝性がんに関する知識量やその対応には医療者の間でも個人差があります。自身や家族の健康を守るためには、遺伝性がんの正しい知識と情報を共有するとともに、その理解を深める取り組みが大切だと思います。

この写真パネル展が、大分県の皆さまにとって、遺伝性がんに対する理解を深めるとともに、患者さんやそのご家族が適切な支援や新しい情報を得る一助となることを願っています。

市民公開講座も開催します

パネル展では、お一人おひとりが書いた“お手紙”に込められたメッセージを、ぜひ会場でお受け取りください。2月8日(土)には、市民公開講座を開催し、遺伝性がんを含む遺伝性の病気について、できる限りわかりやすくお伝えします。皆さまのご来場を心よりお待ちしております。



私も市民公開講座と
大分県でのパネル展の開催を
楽しみにしています。

ご来場くださった皆さまはアンケートのご協力もお願いいたします

アンケートリンク ▶



特定非営利活動法人クラヴィスアルクス ▶

